

## 研究に関する公開情報

公立陶生病院では、以下にご説明する研究を行うことを計画しています。この研究では通常の診療で得られた過去の情報を使用します。本研究に診療情報を使用されることを望まない方は、下のお問い合わせ先に申し出ただけでしたら、その方の診療情報を収集することはありません。お申し出になられても、診療を受ける上で不利益を被ることはございませんのでご安心ください。また、この研究は当院のみで実施されます。

[研究課題名] 入院患者における新規 COVID-19 スクリーニングルールの運用経験と有効性  
～最初の患者を見つけ出す、ファーストペンギン法～

[当院研究責任者] 部署名 感染症内科 氏名 武藤 義和

[研究の背景・目的]

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は本邦においても3000万人以上の感染者と70000人以上の死者を出したが<sup>1)</sup>、2023年5月8日をもって5類感染症の位置づけとなり、いわゆる普通の疾患としての扱いを受けることとなりました。一方で、集団生活の場においては地域の流行状況に伴い出自不明の感染者の発生が相次ぎ、特に病院内は免疫不全者や高齢者、重症疾患の患者が多く、一度集団発生を起こすことにより致命的となる可能性があり、加えて病棟閉鎖や受け入れ停止を余儀なくされる事などによる医療キャパシティの縮小は、他疾患に対して重大な影響を与えるため、COVID-19の院内感染対策は極めて重要であります。このような状況においては、いかに早期に発見するかであるということにリソースを割くことが緊要であり、院内の最初の発生患者さんを必ず見つけ出すという目的を、魚を最初に得るために天敵の潜むかもしれない大海に一番に飛びこむペンギンになぞらえて「ファーストペンギン法」と名付け運用しています。今回、このファーストペンギン法の運用経験と臨床的な有効性について報告します。

### ■ 研究の対象となる方

2022年1月から2024年12月に公立陶生病院においてCOVID-19を発症された方。および感染症学情報

### ■ ご協力頂く内容

上記期間に診療上得られた検査データと、診療録に記録された診療情報(年齢、性別、身体所見、症状、採血検査、画像検査、生活環境、治療内容、治療経過など)を研究に使用させていただきます。それらの使用に際しては、研究責任者がこれを管理し、政府が定めた倫理指針に則って個人情報に厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されることはございません。診療以外での採血など、患者さんに新たにご負担頂くことはございません。

### ■ 研究期間 実施許可から2026年12月末まで

### ■ 個人情報に関して

あなたのご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しができます。また、本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■ お問い合わせ先 公立陶生病院 電話番号 0561-82-5101 FAX 番号 0561-82-9139  
研究責任者 感染症内科 武藤 義和